

中野区の推計人口と現在人口の比較等について

1. 10か年計画（第2次）及び（第3次）時点における2019年1月1日の人口推計と現在人口について

（1）2010年（10か年計画第2次時点）推計と現在の比較

区分	2019年人口 (2010年推計時)	現在人口	推計との較差
年少人口(0-14歳)	25,116	29,258	4,142(16.5%)
生産人口(15-64歳)	202,131	234,427	32,296(16.0%)
老年人口(65歳以上)	63,890	67,973	4,083(6.4%)
合 計	291,137	331,658	40,521(13.9%)

（2）2015年（10か年計画第3次時点）推計と現在の比較

区分	2019年人口 (2015年推計時)	現在人口	推計との較差
年少人口(0-14歳)	27,627	29,258	1,631(5.9%)
生産人口(15-64歳)	225,052	234,427	9,375(4.2%)
老年人口(65歳以上)	66,816	67,973	1,157(1.7%)
合 計	319,495	331,658	12,163(3.8%)

※現在人口は住民基本台帳（2019年1月1日）

中野区の人口は、2012年以降、増加傾向が続いている。

2010年時点においては、推計対象期間（2001年～2010年）の人口が微減傾向であったことから将来人口についても減少を見込んでいた。また、外国人人口が推計に含まれていないことから現在人口との乖離が大きくなっている。

一方で、2015年時点については、推計対象期間（2006年～2015年）の人口が増加傾向であったこと、また、外国人人口が推計値に含まれていること、推計からの期間が短いことにより、現在人口に近い推計値となっている。

しかし、2011年以降は転入者数が転出者数を上回る状況が続いていることなどからすべての年齢区分において推計人口を上回っている。

2. 2019年1月1日の住民基本台帳人口による将来人口推計

階層	区分	平成31年 (2019)	平成32年 (2020)	平成33年 (2021)	平成34年 (2022)	平成35年 (2023)	平成36年 (2024)	平成37年 (2025)	平成38年 (2026)	平成39年 (2027)	平成40年 (2028)
年少人口 (0-14歳)	人口	29,258	29,712	30,223	30,685	31,078	31,480	31,715	32,018	32,221	32,371
	構成比	8.8	8.9	9.0	9.0	9.1	9.2	9.2	9.2	9.3	9.3
	増減率	1.4	1.6	1.7	1.5	1.3	1.3	0.7	1.0	0.6	0.5
生産年齢人口 (15-64歳)	人口	234,427	236,835	239,177	241,420	243,629	245,241	246,828	247,993	248,978	249,786
	構成比	70.7	70.8	71.0	71.1	71.3	71.4	71.5	71.5	71.5	71.5
	増減率	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3
老年人口 (65歳以上)	人口	67,973	67,808	67,639	67,362	66,946	66,941	66,858	66,863	66,909	67,054
	構成比	20.5	20.3	20.1	19.8	19.6	19.5	19.4	19.3	19.2	19.2
	増減率	0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.2
合計	人口	331,658	334,355	337,039	339,467	341,653	343,662	345,401	346,874	348,108	349,211
	構成比	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	増減率	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3
老年人口指数	29.0	28.6	28.3	27.9	27.5	27.3	27.1	27.0	26.9	26.8	
従属人口指数	41.5	41.2	40.9	40.6	40.2	40.1	39.9	39.9	39.8	39.8	

老年人口指数 = (老年人口 / 生産人口) * 100

従属人口指数 = ((年少人口 + 老年人口) / 生産人口) * 100

2011年から他自治体からの転入者数が他自治体への転出者数を上回っていること、外国人人口の増加傾向が今後も継続することが見込まれるため、推計値は増加傾向を示している。

〈参考〉 転入者数・転出者数の推移 (2011年～2017年)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
転入者	26,576	27,472	29,929	29,269	32,710	30,620	30,817
転出者	25,354	25,065	27,344	26,918	28,874	28,696	29,742
差	1,222	2,407	2,585	2,351	3,836	1,924	1,075

3. 外国人人口

(1) 現在までの推移 (2013年～2019年)

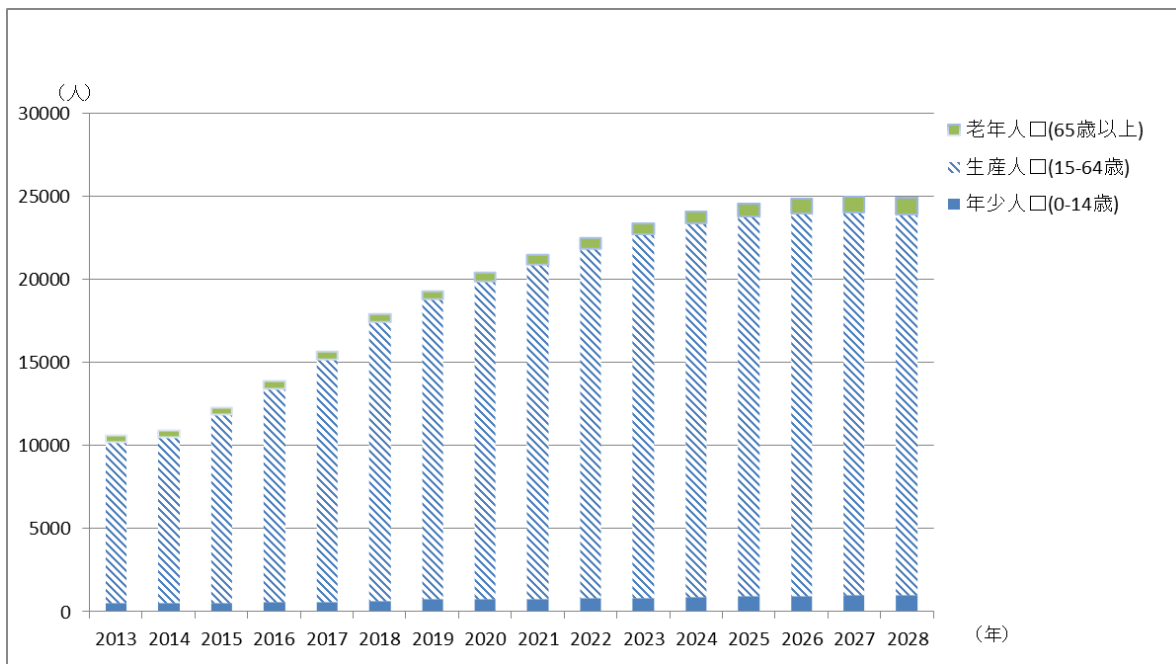
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
年少人口(0-14歳)	507	522	548	572	598	665	742
生産人口(15-64歳)	9,698	10,012	11,307	12,853	14,622	16,819	18,092
老年人口(65歳以上)	405	415	428	447	473	472	492
合計	10,610	10,949	12,283	13,872	15,693	17,956	19,326

※住民基本台帳法の改正により2013年から住民登録が開始された

(2) 将来人口推計 (2020年～2028年)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
年少人口(0-14歳)	764	783	810	837	873	912	938
生産人口(15-64歳)	19,114	20,122	21,077	21,908	22,509	22,888	23,079
老年人口(65歳以上)	537	580	625	677	749	801	863
合計	20,415	21,485	22,512	23,422	24,131	24,601	24,880
	2027年	2028年					
年少人口(0-14歳)	971	985					
生産人口(15-64歳)	23,085	22,978					
老年人口(65歳以上)	930	1,002					
合計	24,986	24,965					

外国人人口の推移と将来推計（2013年～2028年）



外国人人口については、出生率が不明なため、女性・子ども比率（15歳～49歳の女性人口と同年の0歳児人口の比率により、翌年0歳児人口を推計する）により推計し、その他の年齢については、外国人総数が母数として少ないため、外国人のみの人口変化率を適用すると誤差が出やすいため、日本人の人口変化率を適用して人口推計を行っている。

4. 今後の人口推計について

人口推計は、区の将来を展望するうえで、基礎となるデータとなる。このため、今後の人口推計にあたっては、全区的、地域別の人口動態や合計特殊出生率の分析等を行い、専門家の意見を反映してより精度の高い推計、年齢区分別に特化した推計を行い、区の施策に反映させていく。